

まず動け、そこから道が拓けていく
人生でもっとも大事な五年間をどう生きるべきか

『最高の生き方 幸せが訪れる「余命3ヶ月の発想」』

(著者)大久保秀夫

(価格)1,500円+税 〈発売日〉2020年12月25日 〈出版元〉ビジネス社

株式会社ビジネス社(東京都新宿区 代表取締役:唐津隆)は、新刊書籍『最高の生き方 幸せが訪れる「余命3ヶ月の発想」』を2020年12月25日に発売いたします。ぜひ、貴メディアにてご紹介いただけますと幸いです。

『10年後に大きな差がつく10のポイント』

脳梗塞で倒れてから4年!

病になって見えてきた死生観

「余命3ヶ月の発想」!

かつて史上最年少、最短で上場を実現した

時代の寵児が語る生き方、働き方

善か悪か、正か邪かの「魂の決断」がビジネスの命運を決める!



◆目次

- 第1章 病になって見えたもの
- 第2章 それまでの生き方
- 第3章 余命3ヶ月の発想で考える企業・経営・仕事の本質
- 第4章 充実した人生とは
- 第5章 最高の生き方を全うするための心構え
- 第6章 私の使命感
- 第7章 充実した人生を生きる人々

著者:大久保秀夫

1954年、東京都生まれ。國學院大學法学部卒業後、経営方針に納得できず退社。1980年、25歳で新日本工販株式会社(現在の株式会社フリーバル 東京証券取引所 市場第一部)を設立、代表取締役に就任。電電公社(現NTT)が独占していた電話機市場に一石を投じるため、ビジネスフォン販売に初めてリースを導入し、業界初の10年間無料メンテナンスを実施。1988年、創業後8年2ヶ月という日本最短記録、史上最年少(ともに当時)の若さで店頭登録銘柄(現JASDAQ)として株式を公開。同年、社団法人ニュービジネス協議会から「第1回アントレプレナーオー大賞」を受賞。その後も、情報通信業界で数々の挑戦を続け、上場会社3社を含むグループ企業33社を抱える企業グループに成長させた。2010年、社長職を退き、代表取締役会長に就任。会長職の傍ら、講演・執筆、国内外を問わずさまざまな社会活動に従事。カンボジアにおける高度人材の育成を支援する「公益財団法人CIESF(シーセフ)」理事長も務める。さらに一般社団法人公益資本主義推進協議会 代表理事、東京商工会議所副会頭・中小企業委員会委員長なども務めている。

【お問い合わせ先】株式会社ビジネス社 広報担当:松矢 〒162-0805 東京都新宿区矢来町114番地 神楽坂高橋ビル5F

E-mail: matsuyapress@gmail.com 携帯: 09072611982 TEL03-5227-1602 / FAX 03-52271603

著者への取材、企画ご協力、読者プレゼントご対応も承ります。